

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年10月7日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年10月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【2号機 滞留水運転日誌の塩分補正計算式誤りについて】 2号機 滞留水運転日誌の「原子炉建屋」、「タービン建屋」、「廃棄物処理建屋」の滞留水水位の塩分補正計算式に誤りがあることを確認。 塩分補正がされていない7月25日～10月3日の期間における滞留水とサブドレンの最小水位差は927mmであり、塩分補正を考慮しても判断基準400mmの水位差は確保されており、運転上の制限逸脱に該当しないと判断。 今後、塩分補正の誤りの原因、対策を検討予定。	G II	10月3日
2	【6号機 原子炉建屋給気設備フィルターの詰りにについて】 6号機 原子炉建屋給気設備フィルター差圧計の指示が、交換目安である約880Paを上回ったことを確認。 今後、フィルターの交換予定。	G III	10月2日
3	【5号機 原子炉建屋給気設備フィルターの詰りにについて】 5号機 原子炉建屋給気設備フィルター差圧計の指示が、交換目安である約880Paを上回ったことを確認。 今後、フィルターの交換予定。	G III	10月2日
4	【発電所構内に配備されている気温／暑さ指数表示装置の表示不良について】 発電所構内の「重要免震棟前」、「ふれあい交差点」、「入退域管理棟入域側」に配備されている気温／暑さ指数表示装置の表示不良を確認。 6～8月において時折表示が復帰することもあり様子を見ていたが、9月以降に表示不良が継続することを確認。 今後、表示装置の修理予定。	G III	9月24日
5	【乾式キャスク仮保管設備の「蓋間圧力異常」警報発生について】 乾式キャスク仮保管設備の「蓋間圧力異常」警報の発生を確認。 圧力計の1系側と2系側の圧力を測定したところ、2系側の圧力指示値のみが警報設定値を逸脱していることを確認したため、監視計器の故障と判断。 監視計器の圧力増幅器の交換を行い、計器を通常状態に戻した結果、指示値の復旧を確認。	G III	10月1日
6	【乾式キャスク仮保管設備の免震棟監視用パソコンの通信切断について】 乾式キャスク仮保管設備の免震棟監視用パソコン2台のうち、1台の指示表示がOFFになっていることを確認。 関係する各種機器の再起動を行ったが復旧せず。 当該パソコンをもう1台のパソコン用の通信信号接続口に接続したところ復旧したことから、原因は通信設備の故障と推定。 今後、調査及び修理予定。	G III	10月2日